

登録コード	L1641600		開講年度	2026			
担当教員	松本 昇			副担当			
授業科目	心理演習						
英文授業名	Seminar in Psychology						
授業タイトル	心理演習						
単位数	1	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	木曜・4時限
講義室	人文205演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力				異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力が身につくようになる。		
	【2022年度以前加付対象】領域横断的な事柄に対する問題解決能力および創造的な企画構想能力				領域横断的な事柄に対する問題解決能力および創造的な企画構想能力が身につくようになる。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】				人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身につくようになる。		
	【2023年度以降加付対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】				専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身につくようになる。		
授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	公認心理師に必要である心理療法の技術とアセスメントの技法を学ぶ。第2回から第9回では講義と実践を通じて心理療法の技術を学ぶ。第10回以降では、アセスメントの知識を学び、それをクライアントに実践する手法について講義と演習を通じて学びを深める。						
授業計画	第1回 オリエンテーション 第2回 クライアント中心療法概説 第3回 クライアント中心療法実践 第4回 焦点の維持とフィードバック 第5回 動機づけ面接概説 第6回 動機づけ面接実践 第7回 認知行動療法概説 第8回 認知行動療法実践：認知再構成、機能分析 第9回 認知行動療法実践：エクスポージャー 第10回 精神科診断 第11回 精神科診断（2） 第12回 精神科診断（3） 第13回 精神科診断演習 第14回 臨床心理アセスメント演習 第15回 総括、授業アンケート 定期試験						
成績評価の方法	授業への参加態度（50％）と期末試験（50％）の成績によって評価する。						
成績評価の基準	・授業で示された例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」 ・応用問題が解ければ「やや上にある」 ・やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」 ・授業で示されなかった専門的知識を自ら学んで問題回答に活用できれば「卓越している」						
事前事後学習の内容	授業時間の大部分は、観察技術の練習に充てられる。授業中に配布される資料や参考文献を使って授業内容を十分に復習してから次回授業に臨むことを推奨する。						
履修上の注意	・授業で紹介される心理検査や事例を授業外で漏らさないこと。 ・複数人で行うワークを多く取り入れるので、積極的に参加すること。						
質問、相談への対応	火曜日の昼休みをオフィスパワーとする。これ以外にも、事前にアポイントをとれば対応可能である。研究室の場所やメールアドレスは授業内で伝える。						
教科書	指定しない						
参考書	American Psychiatric Association (2014). DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引 医学書院 ポール・L・ワクテル（著）杉原保史（訳）心理療法家の言葉の技術 金剛出版						